



# 北の経営者たち①

旭川市

## 創業102年。旭川で軍手を製造したのが青井商店の始まり

日本最低気温、氷点下41℃を旭川が記録したのは1902(明治35)年。その約20年後の1923(大正12)年に、このまちで青井商店は生まれました。旭川が市制施行により町から市になった翌年のことで、おかげさまで今年創業102年を迎えることができました。

現在では旭川がマイナス20℃を下まわる日も稀ですが、私が小中学生の頃はマイナス30℃まで冷え込んだものです。そんな時、学生服はパリパリ。鼻毛も凍りつくほどの寒さでした。思えば、寒さによる凍傷、



「AOI WORKS」の防寒作業用手袋をはじめ、働く人の頭のとっぺんから、爪先まで何でも揃う自社ショールームと社屋。

# 青井 貴史さん

株式会社 青井商店 代表取締役



モルタル建築が懐かしい昭和を象徴している。

## 防寒作業用手袋の注目ブランド「AOI WORKS」がロシアに次ぎカザフスタンへ急接近。

しもやけのような危険をはらんだ環境だったからこそ、寒冷地ビジネスと向き合うことができたのでしよう。青井商店のルーツは、私の曾祖父が石川県から入植し、旭川で軍手製造を手がけたのが始まりです。

曾祖父からすると曾孫の私は、東京の大学に通い就職活動をしていたある日、身内に不幸が訪れました。

伯父の急逝により、当時の青井商店の社長は私の父で

性にも人気の「ワークマン」様でも扱っていただけるとは思いませんでした。



私のポリシー  
絶対に折れないこと  
達成するまであきらめない

私がロシアへ関心

な

ズをワークスタイルに合わせた作業用品として提供できるのか。そのためにはオリジナルブランドを確立する以外にはないと確信し、2010(平成22)年に、私が主導し「AOI WORKS」を立ち上げ、数々の防寒作業用手袋を生み出してきました。

70年代半ばに自社工場を閉じた当社が、新たなモノづくりを始めるにあたっては、製造工程を持たずに自社の商品企画・開発のノウハウと特殊素材などを中国の企業へ輸出し、現地で製造してもらい、それを輸入し販売するファブレスメーカー方式を採用しました。

引き合いも増え、現在ではホームセンターの「コメリ」様、昨今は女

なったのは、2012(平成24)年に道庁による『寒冷地技術・製品のロシアへの展開ミッション』で、道内企業10数社でのハバロフスク渡航がきっかけでした。ミッションでは各社が手応えをつかみ、そのメンバーが中心となって、2014(平成26)年には『北海道ロシアビジネス未来の会』を結成し、以後、行政や銀行をオプザーバーとして迎え、自主事業と合わせて、共同で現地視察や情報交換などの活動を重ねていきました。

深い人間つきあいから

日本とロシアの価格差は大きく、

は

移り、ついに1975(昭和50)年に

ビルスク市の建材業者の社長さんがAOI WORKSの商品に興味を示され「これを極寒のシベリア地方で売りたい」と動き出してくれました。

い時勢でした。だからこそ私は商売

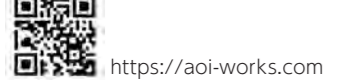
### AOI WORKS防寒作業用手袋の例

極寒地で闘うプロのための手袋! 防寒片面加工手袋 A-919

その手を温かく包み込む至福の手袋! 防水防寒手袋 A-922

抜群のやわらかさ耐油性・防寒性! 防寒全面加工手袋 A-936

青井商店は次の100年に向け



Company Profile

### 株式会社 青井商店

旭川市1条通13丁目左9号 ☎0166-23-2268 ☎0166-23-0885 (札幌事務所/札幌市白石区菊水元町5条1丁目9-11 UMビル2F)

■事業内容/AOI WORKSの防寒作業用手袋、各メーカーの作業用手袋、作業服、安全靴など働く人向けの商品販売 ■資本金/1,000万円 ■創業/1923(大正12)年3月 ■設立/1959(昭和34)年4月 ■社員数/20人(パート含む)



昔の木造建築。看板文字の「軍手製造」の隷書体がいい。

### Personal Profile

#### 青井 貴史さん

1976年8月生まれ。旭川市出身。高校まで地元で過ごす。日本大学経済学部卒業後、東京都内のシステム会社にシステムエンジニアとして勤務。退社後、2003年帰郷し、青井商店に入社。2022(令和4)年、代表取締役役に就任。